

県政特集-1 商店街の活性化

T FIELD



「A-one Field」の店先で

足利市の通一丁目商業会に昨年十一月、空き店舗を活用した「A-one Field」がオープンしました。県が実施している「ここだけの商店街創生事業」を活用している三店舗が出店しました。

その一人、野村武弘さんは兄弟で雑貨店を経営。店内には自ら海外で買いつけた器などが並びます。「オリジナル商品を扱うことで大型店にはない魅力を出したい」と野村さんは話します。三店舗のリーダー的存在、山本光さんの店は婦人服専門店。「世界一流の商品を提供できる店を足利にも」との思いから出店。また、「この場所を商店街全



玩具店を出店した西田孝志さん。こだわりの商品はインターネットで全国からの注文も

オリジナルの魅力があふれる商店街へ

魅力ある、活気あふれる商店街をつくろう。今、新しい視点で、地域の個性を生かした商店街の活性化（魅力づくり）がすすめられています。こうした取り組みを県では積極的に支援しています。

もっと魅力ある商店街づくりへチャレンジ！



まち活性化の最後の生命線だと思われがちですが、地元のはもちろんありますが、不安感の軽減が支えです。



葛生町にある「葛の里 吉番館」は、物産店、飲食店など四店舗からなる観光拠点施設。今年四月にオープンしました。パイパス整備などにより、人

まちの活性化はみんなの力で！

葛生町にある「葛の里 吉番館」は、物産店、飲食店など四店舗からなる観光拠点施設。今年四月にオープンしました。パイパス整備などにより、人

体のイメージアップにつなげたい」とも言います。

商業会の近藤富司会長は「商店街は個々の店の集まり。活性化には、それぞれの店が顧客満足度を高めていく自己努力が不可欠。その上で、こうした動きをもっと広めていきたいですね」と話します。



空き店舗を利用した喫茶店「bspカフェ」(大田原市) 大学生が企画・運営。商店街の人や学生が集まり、交流が生まれています。県の「CC(カレッジ・コミュニティ)ネットワーク支援事業」を活用～

消費者の目で商店街をチェック！ “商UP”アドバイザー始動

「商UP」アドバイザー派遣事業は、消費をリードしている10代・20代の女性に商店街を見てもらい、その意見やアイデアを商店街の魅力アップに生かしていくとするものです。アドバイザーは約20人。今月から、宇都宮市・足利市・佐野市で商店街ウォッチング、商店の人との意見交換など、活動を開始します。

アドバイザーの声



小さくてもセンスのいいお店がもっと増えてほしいと思います。いいものがあれば、若い人は必ず行きます。とちぎの良さを生かした魅力ある商店街づくりを期待しています！

(野口有紀さん・宇都宮市)

商店街の良さを再発見してみよう

車社会の進展や郊外への大型店の進出などを背景に、賑わいが消えていく商店街。しかし、商店街は生活や交流の場であり、文化や伝統を育んできた、いわば「まちの顔」。

商店街の活性化には、それぞれのまちが持つ個性や魅力を見直し、地域が一体となってそれを生かしていくことが何より大切です。

このため県では、「ここだけの商店街創生事業」などさまざまな事業を通して、個性を生かした商店街活性化の支援をおこなっています。

皆さんも、自分のまちの商店街をゆっくりにぞいてみませんか。今まで気づけなかった魅力に出会えるかもしれせんよ。

◇問合せ 県経営支援課
TEL 028-623-3177

県民の皆さんとのよりよい パートナーシップを求めて 皆さんからいただいた「声」におこたえします

県では、県民の皆さんの声を県政に反映するため、皆さんのご意見を県が直接お聴きする「とちぎふるさとづくりフォーラム」などの対話集会や、手紙・電子メールでご提言をいただく「知事にアクセス」、県民センター（県民相談室）での県民相談など、様々な取り組みをおこなっています。今回は、これまでに皆さんからいただいた「声」とそれに対する県の考え方をお知らせします。

1. 子育て支援について

働いている女性に対する支援は充実してきたようですが、家庭で子育てしている人に対する支援も充実してほしい。

県の調査では、男性よりも女性の方が、また働いている女性よりもいわゆる専業主婦の方が、子育ての負担感を強く感じている様子がうかがえます。

このため、男性の積極的な育児参加を促進する各種の啓



栃木市地域子育て支援センター

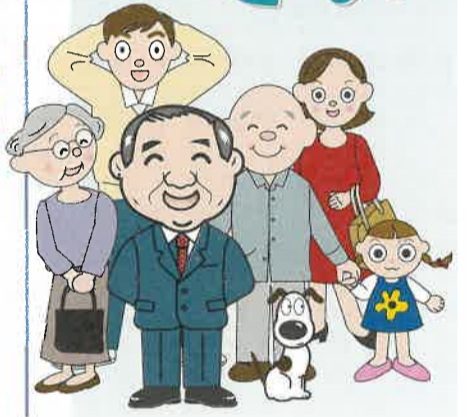
0歳～6歳のお子さんとお父さんお母さんたちの交流の場。「子どもの発達やしつけなどお互いに情報交換ができるし、安心して子どもを遊ばせられます」と話すのは利用者の武井かおりさん(写真左奥)。センターでは、子育て相談のほか講演会やいも掘りなども実施しています。保育士の資格を持つスタッフがさりげなく皆さんの子育てをサポートします。

また、子育て中の親子が気軽に訪れ、情報交換や育児相談などができる子育てサロンや地域子育て支援センターの設置を促進しているほか、県が主催する講演会等に参加しやすいよう、乳幼児の一時預かりを行うなど、支援体制の充実に努めています。(児童家庭課)

2. 乳幼児医療費について

県の乳幼児医療費の助成はありがたいのですが、窓口で支払わないで済むようにもっと手続きを簡単にできないでしょうか。

本県の乳幼児医療費助成制度は、できるだけ多くの方にご利用いただけるよう、受給者の拡大を最優先に制度の充実を図ってきました。今年度からは、受給対象を五歳未満から未就学児までに拡大したところです。自己負担や所得制限を設けていない



ことから、全国的にもトップクラスの制度になっています。お尋ねの手続きの件につきましては、郵送による助成申請方式を導入するなど簡素化を図り利便性の向上に努めてきたところです。今後とも皆さまのご理解、ご協力をお願いします。(児童家庭課)



3. 高齢者福祉施策について

高齢者が健康で快適に暮らせる環境づくりや生涯にわたって活躍できる環境づくりについて、県の取り組みをうかがいたい。

県では、高齢者の方々の生きがいづくりを促進するため、「学ぶ、働く、社会参加」を三つの柱として、シルバード大学の充実やシルバー人材センターへの支援、老人クラブ活動の活性化など、元氣な高齢者がいつまでも元氣で生活できるための施策を推進しています。一方、何らかの社会的支援

を必要とする高齢者が、要介護状態にならずに住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、市町村が実施する介護予防・生活支援事業を支援しています。



市町村が行う生活支援事業のひとつ「外出支援サービス」。高齢者の方を病院や施設などに送り迎えます(写真は上河内町)

4. 学校週五日制について

今年度から完全学校週五日制が実施されましたが、これに対して県はどのような対応しているのですか。

学校週五日制は、子どもたちが主体的に使える時間を増やし、社会体験や自然体験などの様々な活動を経験するなかで「生きる力」をはぐくむ



とんがり教室(芳賀町)

公民館を活用した地域の子どもの休日活動の場。毎週土曜日に地元のボランティアの協力でお菓子づくりや昔のあそびなどを楽しんでいます(写真は焼ものづくり)。ボランティアの皆さんは「地域の子どもたちとふれあえるよい機会。私たちが楽しみます」と話します。とんがり教室では、子どもたちを中心に地域の人々の交流の輪が広がっています。

うとするものです。県では、休日に子どもたちが自主的に活動できるように、教育事務所のふれあい学習課を中心に市町村や関係機関と協力しながら、地域の様々な人がふれあう交流活動を行うなど、地域で子どもを育てる環境づくりに努めています。(教育委員会総務課)

5. 環境学習について

意識調査によると、環境を守るという意識と実践とは大きな格差があるようです。県民が小さい単位で環境問題を学習できる場が必要だと思えます。

環境への負荷の少ない生活様式や社会経済システムを実現するためには、全ての県民が環境について学習し、自発的に環境保全活動を実践することが大変重要と考えます。このため、県では総合計画「とちぎ21世紀プラン」において、環境学習の拠点を整備することにしています。また、県内に在住・在勤・在

学する方のための学びの場として「とちぎ県民カレッジ」を開催しており、このなかでも「環境」をテーマにしたわかりやすい学習の場を提供しています。



「とちぎ県民カレッジ」では宇都宮市環境学習センターの見学も行いました

あなたの窓口「県民センター」

- ◆中央県民センター 県庁2階(宇都宮市) ☎028-623-3765
- 上野原県民相談室 上野原庁舎内(鹿沼市) ☎0289-64-9419
- 芳賀県民相談室 芳賀庁舎内(真岡市) ☎0285-82-5888
- ◆県南県民センター 下野原庁舎内(栃木市) ☎0282-24-5665
- 安蘇県民相談室 安蘇庁舎内(佐野市) ☎0283-24-2603
- 足利県民相談室 足利庁舎内(足利市) ☎0284-42-9700
- 小山県民相談室 小山庁舎内(小山市) ☎0285-22-9164
- ◆県北県民センター 那須庁舎内(大田原市) ☎0287-23-1555
- 塩谷県民相談室 塩谷庁舎内(矢板市) ☎0287-43-2142
- 南那須県民相談室 南那須庁舎内(烏山町) ☎0287-83-1555

県民センターでは、県政についてのご意見・ご要望・困りごとなどの県民相談のほか、交通事故相談、医療相談、パスポートの申請受付などをおこなっています。お気軽にご利用ください。



移動県民相談 国や市町村と協力して県内各地で行政や生活に関する相談をお受けしています

◇問合せ 県広報課 TEL 028-623-2158

この他、道路の整備、市町村合併、商店街の活性化、農林業の振興など県政全般についてご意見・ご提案等をいただいています。お寄せいただいたご意見と県の考えは、県のホームページ(<http://www.pref.tochigi.jp>)でもご紹介していますのでご覧ください。また、手紙や電子メールによる「知事にアクセス」のほか、各県民センターでも皆さんからのご意見・ご提案を随時お受けしています。ぜひ、皆さんの「声」をお寄せください。

県政トピックス

Topics 1 市町村合併を考える



会場の参加者も加わり、活発な意見交換がされました

9月8日、日光市総合会館で「市町村合併をともに考える全国リレーシンポジウム 2002 in とちぎ」が開催されました。石原信雄・地方自治研究機構理事長による基調講演のあと、福田知事、斎藤黒羽町長など5人によるパネルディスカッションが行われ、市町村合併の意義や必要性などについて熱く語り合いました。

Topics 2 知事 新100歳を祝う



笑顔で知事と握手する齋藤湊さん

敬老の日を前にした9月12日、福田知事は今年100歳を迎える齋藤湊さん(今市市木和田島)を訪ね、長寿を祝いました。史跡探訪や旅行が趣味という湊さん。知事は「いつまでもお元気」と、お祝いのごちそうと記念品を贈りました。9月1日現在、100歳以上の方は県内に287名いらっしゃいます。

Topics 3 天皇皇后両陛下 各地をご視察



県立博物館で説明を聞かれる両陛下

天皇皇后両陛下は9月13日、県立博物館で開催された企画展「那須の自然」をご視察になりました。那須御用邸に生息する動植物などについて、質問されながら熱心にご覧になりました。その後、高根沢町の阿久津小学校をご訪問になり、元気に遊ぶ子どもたちに笑顔で声をかけられていました。

行政改革 一歩一歩着実に

大規模公共事業事前評価システムがスタートしました

県では、現在「栃木県新行政改革大綱(改訂版)」推進期間は平成十三～十七年度に基づいて、不断の行政改革に取り組んでいます。その中から、栃木県大規模公共事業事前評価の取り組みについてご紹介します。

公共事業の透明性を図るために

県では、今年度から政策形成過程のより一層の透明化を図るため、「栃木県大規模公共事業事前評価システム」を導入しました。これは、県が実施する総事業費五十億円以上の公共事業について、その必要性や妥当性を事業の計画段階において評価するものです。対象となる事業については、概要や必要性を記載した資料を県が作成・公開し、「パブリック・コメント」により県民の皆さんからのご意見を募集します。さらに、これらの資料や意見も参考としながら、学識経験者で構成する「事前評価委員会」において審議し、事業化に関するご意見をいただきます。

事業の必要性や効果を審議

八月二十八日、初めての「事前評価委員会」を開催し、平成十五年度以降に実施を予定している①一般国道四〇八号真岡宇都宮バイパス整備事業、②都市計画道路三・二・一〇一号大通り拡幅整備事業について、その必要性や予想される効果などを中心に審議いただきました。

委員の皆さんからは、①については「広域の物流軸として早期に整備すべきであること」、②については「街づくりの観点から地元住民や学校とよく調整し、渋滞対策や高齢者の安全や歩きやすさにも十分配慮すべきこと」、など貴重な意見が出され、委員会としては、「いずれも事業推進が妥当」とのご意見をいただきました。



効果、影響などについて活発な議論がなされた事前評価委員会

県では、このご意見を尊重し、二つの事業の推進を決定したところであります。今後とも、政策の形成過程が県民の皆さんにわかりやすくなるよう取り組んでまいります。

①

一般国道408号真岡宇都宮バイパス整備事業

②

都市計画道路3・2・101号大通り拡幅整備事業

◇問合せ 県行政システム改革室
TEL 028-623-2225

パブリックコメントでいただいたご意見や事前評価委員会の議事録は県のホームページ(<http://www.pref.tochigi.jp>)でご覧いただけます。

のりしろ

知事にアクセス

テーマ

のりしろ

◎県政に関するご提案等をこの用紙でお寄せください。

〒□□□-□□□□

ご住所

お名前 男・女 歳

ご職業 ()

のりしろ

あなたの「声」を聴かせてください

県民の皆さまからのご意見・ご提案をお聴きする「知事にアクセス」を実施しております。県政に関するご提案は、この用紙で皆さまの声をとお寄せください。

お寄せいただいたご意見・ご提案は私が読ませていただき、今後の県政に反映させていただきます。皆さまからの御便りをお待ちしております。

栃木県知事 福田昭夫



ヨメナ(キク科)

周囲の花々が終わった秋の野に、上品な薄紫色を披露してくれる野菊。よく似た白い花にシラヤマギクがあり、ムコナと呼ぶことから「嫁菜」と名付けられたそうです。

ウォッチングポイント

田畑の土手や荒れた草地に見られます。11月上旬までが見頃。



森の集い

「好評!リース&バスケット」



- 森林整備を行い、採ったツルを利用してリースなどを作ります
●10月27日(土)・30日(水)
●11月9日(土)・14日(木)
●11月17日(日)・27日(水)
●12月5日(木)・8日(日)
●定員 各回先着10名
●参加費 無料
●応募締切 10月22日(火)
●問合せ 県民の森管理事務所 ☎0287-43-0479

冬芽かんさつ会

- 春を迎える準備をする冬芽。晩秋の森で観察してみましょう
●11月16日(土)午前9時30分集合
●定員 20名
●参加費 大人500円 子ども250円
●応募締切 11月2日(土)
●問合せ 日光自然博物館 ☎0288-55-0880

新そばを自分で打って食べよう

- そば打ちと、つる細工などネイチャークラフトを楽しみます
●11月17日(日)午前9時15分集合
●参加費 そば材料費1,000円
●定員 先着40名
●応募締切 11月12日(火)
●問合せ 国民宿舎「烏山わらび荘」 ☎0287-84-2890

補助犬は大切なパートナー

補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)は目や体に障害のある方のかけがえのないパートナーです。10月1日から身体障害者補助犬法が施行されました。これにより公共の施設や交通機関では補助犬の受け入れを拒んではならないことになりました。来年10月からは、スーパー、飲食店なども対象となります。
皆さんのご理解とご協力をお願いします。
◇問合せ 県障害福祉課 ☎028-623-3053



文化情報 県立博物館 ☎028-634-1312

期 10月20日(日)
周 ~12月1日(日)
●記念講演会①「プロヴァンスの美術と歴史」10月20日(日)②「ファーブル昆虫記と日本人」11月10日(日)
●申し込みは電話で
◎その他、ハーブやワイン、料理、音楽などプロヴァンスにちなんだイベントも盛りだくさんです。日程など詳細は問い合わせください

第74回企画展 開館20周年記念特別企画展 プロヴァンス発見



ドラゴンを打ちのめす聖ミカエル (ブチ・パレ美術館)

古代ローマからファールまで -自然・歴史そして美-
栃木県の友好県であるフランス・ヴォークリューズ県の自然・歴史・文化を紹介いたします。世界遺産アヴィニヨンの名宝 日本初公開です

栃木県のお知らせ

毒キノコによる食中毒に要注意!
食べられるキノコと確認できるもの以外は、採ったり、譲ったり、もらったりしないでください

催し

- とちぎ花センター10周年記念 フラワーフェスティバル
●10月18日(金)~20日(日)午前9時~午後5時
●プラントコンテスト作品展示、花の写真講習会、オカリナ演奏ほか
●同センター(岩舟町) ☎0282-55-5775
●ふるさと栃木フェア2002
●来て!見て!感じて!あなたのふるさと~
●10月25日(金)~27日(日)午前10時~午後5時(最終日は午後4時まで)
●マロニエプラザ(宇都宮市)
●特産品・農林水産物の展示・即売、ふるさとの味の提供ほか
●県観光課 ☎028-623-3305
●クリーンアップフェア2002
●10月26日(土)・27日(日)午前9時30分~午後4時30分
●子ども総合科学館
●環境に関する展示、エコロジーゲームほか
●県環境政策課 ☎028-623-3186
●なかがわ水遊園「旬の味体験ラリー」
●10月26日(土)・27日(日)①午前11時~②午後2時~
●地元農産物で料理づくりを体験
●定員 各回先着30名
●参加無料
●同園(湯津上村) ☎0287-98-3055
●岡本台病院ふれあいまつり
●10月26日(土)午前10時~午後3時
●アルコールゼミナー、バザー、模擬店、フリーマーケットほか
●同病院(河内町) ☎028-673-2211

●栃木県警察音楽隊設30周年記念演奏会
●11月9日(土)午後1時30分~
●県総合文化センター
●スライドによる30年間の活動紹介や小学生の合唱ほか
●定員 先着1,600名
●入場無料
●県警察本部広報広聴課 ☎028-623-3777
●フェスタインバルティ2002
●11月16日(土)・17日(日)午前10時~午後3時30分
●ワークショップ、手作り品展示ほか
●とちぎ女性センター(宇都宮市) ☎028-665-7706
●県立文書館第17回企画展
●村や町の文化人たち-近世下野の民衆文化-
●11月8日(金)まで
●江戸時代後期の下野の庶民文化を展示します
●同館(県庁東館) ☎028-623-3450
●しもつけ風土記の丘資料館第16回企画展
●律令国家の地方官衙-古代の役所II-
●11月24日(日)まで
●過去10年間に発見された古代の役所跡について紹介します
●同館(国分寺町) ☎0285-44-5049
●県南地区障害者雇用促進会
●10月24日(木)午後2時~4時
●ホテルマリアージュ 仙水(佐野市)
●求人事業主と就職希望の障害者の皆さんによる集団面接会
●ハローワーク佐野 ☎0283-22-6260

文化情報 子ども総合科学館 ☎028-659-5555

●児童館フェア「わいわい遊びの屋台村」
●10月19日(土)・20日(日)午前10時~午後3時30分
●工作や遊びの屋台がたくさんあるよ
●県総合文化センター ☎028-643-1010
●第7回カルフル・コンサート高嶋ちさ子(ヴァイオリン)&加羽沢美濃(ピアノ)カジュアルクラシックス
●10月17日(木)午後7時開演
●好評発売中

文化情報 県立美術館 ☎028-621-3566

●企画展「近代歴史画と羽石光志」
●[前期]10月26日(土)~12月1日(日)
●近代歴史画と茂木町出身の羽石光志の画業を紹介。180点を展示します
●下村親山「小倉山」(右隻)1909年 横浜美術館蔵

案内

●思春期相談センター
「クローバー~ピアルーム~」がオープンします
●クローバーは、心の問題や性的問題など、思春期の皆さんが気軽に悩みを相談できる場です。ピア(同年代の仲間)や保健師等が相談にあたります。ぜひお気軽にご利用ください
●開設日 10月20日(日)
●開設場所 宇都宮市オリオン通り 109UTSUNOMIYA 店4階
●電話相談 ☎028-632-0881
●インターネット相談 peerroom1020@rapid.ocn.ne.jp
●開設時間 毎週土・日曜日午後1時~6時
●県児童家庭課 ☎028-623-3064

募集

●産業技術大学の入学生
●募集期間 10月29日(火)~11月7日(木)
●試験日 11月22日(金)
●問合せは各校へ
【県央校(宇都宮市) ☎028-689-6374】
●募集学科 機械技術科、制御システム科、自動車工学科、建築設計科、設備システム科
【県北校(那須町) ☎0287-64-4000】
●募集学科 生産エンジニア科、通信エンジニア科、サービスエキスパート科
【県南校(足利市) ☎0284-91-0803】
●募集学科 機械システム科、電気システム科

Information とちぎテレビ
県の広報番組
クローズアップとちぎ
とちぎ情報局

産業支援拠点施設がオープンします
宇都宮中央局 承 認 606
宇都宮市塙田一丁目一番二〇号
栃木県知事 福田昭夫 行